

平成 29 年 6 月 1 日

第 90 回

感染症健康危険情報評価検討会および

生物学的製剤に由来する感染症情報収集検討委員会 報告

平成 29 年 5 月 11 日から平成 29 年 5 月 31 日までの間に収集された情報について、平成 29 年 6 月 1 日に上記委員会を開催し検討した結果、別紙の情報 2 件について注意喚起のため、関係部署に対し情報提供が必要であると判断した。

(生物学的製剤に由来する感染症情報収集事務局まとめ)

雑誌名 (巻・号)	Emerging Infectious Diseases. (Vol. 23, No. 4, April 2017)
ページ	353-356.
論文タイトル	Transmission of Hepatitis A Virus through Combined Liver-Small Intestine-Pancreas Transplantation
(和訳)	肝臓-小腸-膵臓移植による A 型肝炎ウイルスの伝播
著者	Monique A. Foster, et.al
要旨	<p>テキサス州の 2 名の訪問看護師が急性 A 型肝炎を発症した事例があり、この 2 名が共通に看護していたのは肝臓、小腸、膵臓を同時移植された 7 歳児のみであった。この児も HAV に感染、慢性化していることが判明し、さらに移植臓器 donor の検体も検査の結果 HAV 陽性であった。この 4 検体の配列は一致し、移植を通じて donor から recipient に感染し、さらに recipient の看護で看護師 2 名が感染したことが判明した。2 名より前に recipient を看護していた訪問看護師 1 名も調査の結果 HAV に感染していたことが明らかになった。Donor と 3 名の看護師はいずれも HA ワクチンを接種されていなかった。Recipient は移植前に HA ワクチンを接種されていたが、移植を受けるために免疫抑制状態にあったため HAV に感染したものと推察される。</p>
コメント	<p>アメリカ合衆国では、2006 年から 12~23 ヶ月の乳児への HA ワクチン接種が勧奨されているが、2014 年の調査では 2 回接種完遂率は 57.5% と定期接種勧奨ワクチンの中で最も低い。今回も donor は HA ワクチンを接種されていなかったと考えられ、もし受けていればその後の recipient や看護師の HAV 感染は防げたと思われる。また、本例は recipient が臓器移植を受けたために免疫抑制状態にあり、HAV 感染が慢性化した極めて珍しい事例である。常時水様便を排出していたため、周囲に感染させる可能性も高かったものと考えられる。</p>
評価	B (参考情報)